



南三陸町立歌津中学校

歌津中学校だより

た つ が ね



教育目標 志をもち、たくましく未来を拓く生徒の育成

令和7年12月23日

第19号

文責：中村早苗



## 2学期 終業式 (12月23日)



76日間の2学期が終了し、本日、終業式を行いました。保護者の皆様には、日々の学校生活の中で多くの場面において温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

式では、校長式辞に続き、各学年生徒代表として、1年生の高橋朋久さん、2年生の阿部咲希さん、3年生の阿部春真さんが「2学期を振り返って」の感想を発表しました。振り返ると2学期は多くの行事があり、子ども達にとって学びと成長の機会がたくさんありました。代表生徒は、それぞれが心に残った出来事や、3学期に向けての目標を堂々と述べてくれました。

明日から始まる冬休みは短い期間ではありますが、計画的に過ごし、充実した日々となることを願っています。

### 【2学期終業式 校長式辞 から】

今日で第2学期が終わります。

毎日の授業、行事、部活動、そして何気ない学校生活の中で、みなさんはそれぞれの場所で、精一杯努力を重ねてきました。まずは、その頑張りを、心からたたえたいと思います。

2025年、世の中では多くの出来事がありました。暑すぎる夏、山林火災、地震、津波、熊の出没…各地で起きた自然災害は、命の大切さや、備えることの大切さを改めて私たちに教えてくれました。また、AIの進歩により、学び方や働き方が大きく変わり始めた年でもありました。SNSでは、便利な一方で、何気ない言葉が人の心を深く傷つけてしまうこともありました。世界では今も争いが続き、平和であることが、決して当たり前ではないと感じさせられる一年でした。

こうした出来事に触れる中で、不安になったり、心がざわついたりした人もいるかもしれません。でも、覚えていてください。みなさんは決して一人ではありません。学校には仲間がいて、地域には支えてくださる人がいます。この歌津地域は、自然とともに生き、人と人が助け合いながら歩んできました。困難な経験をして、前を向き、次の世代につなげてきたこの地域の姿は、みなさんをそっと支え続けています。

1年生のみなさん。 中学校生活にも慣れ、少しずつ自分の居場所ができてきたことでしょう。今年の3月までは、小学生だったことが嘘のように、大きく成長しました。時々、うまくいかない日もあるかもしれませんが、大丈夫。それが大きな学びにつながります。身近な出来事に目を向け、「なぜだろう。どうしてだろう。」という問いを大切にしてください。

2年生のみなさん。 学校の中心となる存在として、本当によく頑張りました。中には、「特に頑張らなかつたよ。」という人もいるかもしれませんが、そんなことはありません。知らず知らずのうちに、後輩や友達の心を支えています。これからも、言葉一つ、行動一つが、誰かの安心につながることを、どうか忘れないでください。

3年生のみなさん。

進路を考えるこの時期、不安になるのは自然なことです。でも、これまで歌津で過ごし、努力し、仲間と励まし合ってきた日々は、確かな力としてみなさんの中に蓄積されています。自分を信じ、最後まで自分の歩幅で進んでください。私たちは、いつもみなさんを応援しています。

まもなく迎える2026年は、みなさん一人一人に、新しい可能性が開かれていく年です。社会がどれほど変わっても、どんな時代になっても、「人を思いやる心」「学び続けようとする姿勢」「自分を信じて一歩踏み出す勇気」は、決して色あせることはありません。歌津で育ち、仲間と支え合いながら過ごしてきたみなさんには、その力がすでに備わっています。今は気づいていなくても、必ず、誰かの支えとなり、社会をあたたく照らす存在になっていきます。

この冬休みは、これまでの自分を誇りに思い、「来年はこんな自分でいたい」という希望を、胸に抱いてください。

2026年が、みなさんにとって、挑戦する勇気と、支え合う温かさに満ちた一年となることを、心から願います。式辞といたします。

南三陸町立歌津中学校 校長 熊谷岳哉

【下校時間訂正のお知らせ】1月19日(月)の下校時間は、17:00になります。